軌跡

「創刊のきっかけは？」
よく聞かれる質問です。
もちろんすべてではないですが、
年表にまとめてみました。

「女性ばかりでよく続いていますね」というのもよく聞かれる事だ。何でなんだろう？　とその都度考えるのだが、たぶん私たちにあんまり「こだわり」が無いからなんじゃないだろうか。「どうでもいい」ということではない。「こうでなくては許されない」という事が少ないのだ。「こうでもいいけど、それもありだね」という感じ。3人のうち2人が賛成すればその案が通る、という塩梅。

たぶん、普段の仕事でも編集モノは多くの人が関わるのが常だ。エゴを通すよりも、良いものを作る事を優先する、という意識がベースにはある。

さらにはスタッフ全員子持ちなので、「諦める」ということが悲しいかな身に付いている。何かトラブルがあっても、嵐が過ぎればそのうちなんとかなるさ、と割と楽天的なのも幸いしている。

そういえば、ライターのはやしみかんさんが「てくりはオフビートなのが良いところ」と評してくださったことがあったが、確かにちょっとはずれた場所を好んで歩く私たち。言い得て妙である。

2000 平成12年

・6月頃、フリーランスで集まる会があり、木村と滝沢が二次会で意気投合。何か一緒につくろうと話す。赤坂もその企てに合流。その後、大関、水野も参加。

2001 平成13年

・ランチと称してしょっちゅう企画会議。
・「タウンネットワーク・クラブ」結成、当初はカメラマンも含め7名の集まりだった。「材木町瓦版」を発行。



2002 平成14年

・豆腐をテーマにした本の発行を画策するが、没に。木村、第二子出産。

2003 平成15年

・団体名を「いわて発まちの編集室」とし、岩手県に登録。NPOマネジメント研修会の仕切り、パンフ制作を請け負い資金を得る。春に赤坂が、秋に水野が第二子出産、妊娠はうつるらしい。



2004 平成16年

・乳飲み子を抱えながらも企画会議。木村、印刷会社の仕事でカメラマン奥山淳志さんと出会う。「てくり」制作を始める。



2005 平成17年

・5月、「てくり」創刊。団体名から「いわて発」をとる。初版千部。一ヵ月後に千部増刷。最終的にさらに千部増刷。売り上げを元に、11月、2号目を発行。以降、年2回発行。
・南昌荘にて発行記念トークイベント開催。奥山さんが「アップカフェ」にて初の写真展開催。
・定期購読希望者のために「てくりの会」をつくる。ポストカードのイラストをオガサワラユウダイさんに依頼、以後継続。



2006 平成18年

・3月、いわてNPOセンター発行の両磐地域情報誌「あがらい」の制作を行う。
・盛岡を度々訪れていた文筆家の木村衣有子さんと出会う。5号に立原道造について書いてもらうことに。



2007 平成19年

・誰かホームページ作りとか手伝ってくれないかなあ……とブログにぼやいたところ、高橋友恵さんがうっかり手を挙げる。以後、スーパー助っ人に！
・木村、当時アニマスタジオにいた編集者の丹治史彦さんから依頼を受け、安部智穂さんの本をデザインする。ここから智穂さんとのおつきあいが始まる。
・10月、「フレンチとホームスパンを楽しむ会」をベルクールにて開催。
・2号の中村工房さんとコラボマフラーをつくる。6号発行。



2008 平成20年

・6月、「ブックカフェてくり」を岩井沢家ギャラリーにて開催。当日朝、岩手宮城内陸地震が発生したが盛況に終わる。同イベントにて、福田パンとのコラボバッグ限定販売。智穂さんの「森の暮らし　たいまぐら便り」（アノニマスタジオ刊）が発行となり販売する。
・「てくりモリオカ散歩地図」発行、無料配布。
・8月、「デザイン物産展ニッポン」が松屋銀座にて開催。「本＋デザイン」の項目で岩手代表となり、7号が展示される。

2009 平成21年

・4月よりラヂオもりおかにて「てくりプレゼンツ　ほにほにラヂオ」放送開始。パーソナリティーは大関（現在育休中）。
・「てくりモリオカ散歩地図　増強版」発行、無料配布。
・9月、てくり別冊「いわてのてしごと　te no te」発行。関連イベントとして家具屋のホルツさんをお借りして展示販売会「てのての展」開催。型染めの小田中さんにオリジナル手ぬぐいをつくってもらう。11月、智穂さんの料理を楽しむ「町家でごはんの会」開催。
・10月、「LLP まちの編集室」となる。





・6月、岩手宮城内陸沖地震。9月、リーマン・ブラザーズ破たん（リーマン・ショック）
・4月、NHK朝の連ドラ「どんと晴れ」スタート。6月、さんさ太鼓ギネス挑戦
・9月、イオン盛岡南ショッピングセンターオープン。12月、MOSSビルオープン
・11月、ダイエー盛岡店閉店
・8月、イオン盛岡ショッピングセンターオープン
・6月、大規模小売店舗立地法施行

2010 平成22年

・2月、イベント「ひつじの時間」開催。
・3月、盛岡ブランド推進室より冊子「盛岡芸妓ものがたり」の制作を受託。2013年には「盛岡芸妓ものがたり」として改訂版制作。
・4月、てくりブックレット1「盛岡の喫茶店」発行。関連イベントとして、5月「機屋さんの珈琲講座」、9月「盛岡の喫茶店の写真展」、「奥山淳志×木村衣有子『撮る／書く』トークセッション」開催。
・11月、ブックレット2「北の服」発行。仕事仲間だった菊池美帆さんがshop＋space「ひめくり」オープン。







・12月、東北新幹線、新青森開業
・10月、クロステラス盛岡オープン

2011 平成23年

・1月、12号の発行記念イベントとして「佑子さんと一緒に、利き酒会」開催。
・3月の震災を受け、すべての仕事が止まる。取材中だった13号の内容を変更せねばならなくなり、発行が大幅に遅れる。
・5月、ブックイベント「モリブロ」開催。以後、毎年5月に開催。
・9月、ブックレット3「森の食卓　たいまぐらのレシピ帖」発行。



・3月、東日本大震災
・6月、平泉が世界遺産登録





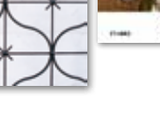




2012 平成24年

・1月、15号発行記念イベント「新年百年写真館」を、唐たけし写場にて開催。
・10月、岩手県農林水産部競馬改革推進室のパンフレット「馬と人」の取材・編集・デザインを請け負う。
・11月、てくり別冊「いわてのうるし」発行。関連イベントとして「いわてのうるし展」を「ひめくり」の他、東京の三鷹と吉祥寺でも開催。塗師の田代淳さんと共に「まるんといわて椀」を製作、販売。
・岩手県商工労働観光部産業経済交流課より「PR版　いわてのうるし」リーフレット作成を請け負う。





・消費税8％スタート

2013 平成25年

・5月、モリブロにあわせ、もりおか啄木・賢治青春館にて「てくり展」開催。
・取材のため県内の山に登りまくる。8月、17号発行。東京オリンピック開催決定の第一報を聞いたのも岩手山の8合目山小屋だった。
・9月、ブックレット4「森の食卓　たいまぐらのおやつ」発行。

・4月、NHK朝の連ドラ「あまちゃん」スタート。

2014 平成26年

・3月、渋谷ヒカリエにて「文化誌が街の意識を変える展」に岩手代表として参加。木村と編集者の丹治さんがトークイベントを行う。
・5月、てくり別冊「光原社　北の美意識」発行。
・6月、ブックレット5「盛岡の喫茶店　おかわり」発行。なっくと共同で「てくりモリオカ散歩地図　改訂版」発行、無料配布。なっくサイトにもコラボコンテンツ作成。



・消費税8％スタート

2015 平成27年

・3月、濱田淑子さんより制作依頼を受け「芹沢銈介を読む　1」を発行。
・大阪のメビック扇町にて開催された「地域メディアを語る」トークセッションに木村が参加。
・5月、創刊10周年。